

受験番号	
------	--

2020年度大学院法学研究科修士課程 入学試験問題

- (1) 問題冊子、下書用紙、すべての解答用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。
- (2) 出願時に申請した2科目（入学後に専攻を予定している科目1科目およびその他の任意科目1科目）を解答しなさい（科目は受験票に記載されている）。
- (3) 解答用紙の所定の欄に、選択した科目を記入すること。
- (4) 解答用紙は各科目につき2枚を使用し、特に指定のある場合を除き、設問1問につき1枚ずつ使用すること（1枚の解答用紙に複数科目の解答を記入しないこと）。
- (5) 各解答用紙には、選択した問の番号を必ず記入すること。
- (6) 1科目1問の科目については、解答用紙を2枚使用しても差し支えないが、使用するしないに関わらず、2枚とも受験番号と科目名を記入すること。

【1】西洋法制史

次の3問から2問を選択し、解答しなさい。(選択した問題の番号を冒頭に明記し、解答用紙は1問につき1枚使用すること。)

問1 ユスティニアヌスの法学提要が後の時代のヨーロッパに与えた影響について、複数の国ないし地域を例に挙げて論じなさい。

問2 1356年の金印勅書について、その法制史的意義を論じなさい。

問3 ローマ法継受の時代を象徴すると考えうる法文献群を挙げ、そのように考えた根拠を説明しなさい。

【2】憲法

次の3問から2問を選択し、解答しなさい。(選択した問題の番号を冒頭に明記し、解答用紙は1問につき1枚使用すること。)

問1 憲法尊重擁護義務について論じなさい。

問2 取材の自由について、その意義、保障根拠および限界を、判例を踏まえつつ論じなさい。

問3 「日本国憲法は、憲法上法律事項とされているものを除き、議院の組織や議事、内部規律などに関する事項を広く両議院の自主的な立法にゆだねており、本来は国会法のような法律の存在を想定していない」との見解の妥当性について、論じなさい。

【3】行政法

次の2問とも解答しなさい。(問題の番号を冒頭に明記し、解答用紙は1問につき1枚使用すること。)

問1 「権力的事実行為」とはどのようなものか。具体例をあげながら説明し、権力的事実行為が行政訴訟において争われる場合の訴訟形式の考え方について述べなさい。

問2 国家賠償法1条の要件にある「違法性」の判断基準を2つ挙げ、両者の内容と異同について説明しなさい。

【4】国際法

次の2問とも解答しなさい。(問題の番号を冒頭に明記し、解答用紙は1問につき1枚使用すること。)

問1 国際法上、国際違法行為が成立する場合、違法行為国はどのような義務を負うか。当該義務の内実について論じなさい。

問2 現代国際法におけるソフト・ローについて、その意義と展開をさまざまな角度から論じなさい。

【5】国際関係論

次の3問から2問を選択し、解答しなさい。(選択した問題の番号を冒頭に明記し、解答用紙は1問につき1枚使用すること。)

問1 絶対的利得 (absolute gains) と相対的利得 (relative gains) について、①両者の違いを簡潔に説明しなさい、②両者についてどのような学術的論争がなされてきたか述べなさい、③両者を用いた分析が有効と思われる国際関係の実例を1つ取り上げ、具体的に有効性を示しなさい。

問2 国際関係における非国家主体を分析する際、ラショナルイズムとコンストラクティヴィズムのどちらがより有用か。具体例に言及しつつ、論じなさい。

問3 中距離ミサイル全廃条約 (INF 条約) の破棄と大国間の戦略的関係の態様の関係について、破棄に至る (1) 構造的要因と (2) 政治プロセス、条約破棄によってもたらされる大国間の戦略的関係の変容について想定しうるシナリオを示しなさい。

【6】国際関係史

次の2問から1問を選択し、解答しなさい。(選択した問題の番号を冒頭に明記し、解答用紙は1問につき1枚使用すること。)

問1 第一次世界大戦はどのように勃発したのか、関連する学説や史実に言及しながら論じなさい。

問2 第二次世界大戦の開戦原因についてヒトラー個人を要因として重視する見解がある。これに対するあなたの考えを、関連する学説や史実に言及しながら論じなさい。なお、回答する際にヨーロッパ以外の地域における国際関係の展開を視野に入れてもかまわない。

【7】民法

次の2問とも解答しなさい。(問題の番号を冒頭に明記し、解答用紙は1問につき1枚使用すること。)

問1 Aは、自己所有の土地甲をBに売り渡した。Bが甲上に建物乙を建てて居住を始めた後、甲が人体に有害な化学物質によって汚染されていることが判明した。Bは、Aに対してどのような請求をすべきか。場合分けをしつつ、複数の可能性を検討して、論じなさい。

問2 Aは、自己所有の建物丙をBに賃貸した後、丙をCに譲渡した。Cは、丙につきAから賃貸人の地位を承継したと主張して、Bに対して賃料の支払を請求することができるか。場合分けをしつつ論じなさい。

【8】民事訴訟法

次の2問とも解答しなさい。(問題の番号を冒頭に明記し、解答用紙は1問につき1枚使用すること。)

問1 証明責任について、その意義、分配のあり方も含めて論じなさい。

問2 XはYに対して、Yが占有する家屋の明渡しを求める訴えを提起した(以下「本件訴訟」という)。第一審の口頭弁論において、Yは、本件訴訟係属後に、XY間で、YがXに示談金を支払う代わりに、Xが訴えを取り下げる旨の合意(以下「本件合意」という)が成立し、Yは示談金を支払ったと主張した。Yの主張通りの事実が認められる場合、裁判所はどうすべきか。本件合意の有効性や法的性質に触れつつ論じなさい。

【9】知的財産法

次の問いに解答しなさい。

問 作家のXは、自らの生い立ちや創作裏話などを1時間ほど語る有料の講演会をおこなった。講演は無断で録音されて文字に起こされ、開始から終了までXの口調を忠実に再現した文字コンテンツAとして、Xの名を明示しつつ、インターネット上に無断で掲載されている。録音・文字起こし・アップロードに関わった者(ら)は、いずれも特定されていない。

Aが掲載されているのは、個人が作成したと思われる匿名のブログBである。Bは、大手インターネットアクセスプロバイダのY社が、会員向けに提供しているブログシステムを利用して作成されており、誰でも自由に閲覧することができる。

XはY社に、AをBから削除するよう請求した。この請求は認められるか。

なお、著作権法上の論点についてのみ述べれば十分であり、発信者情報開示請求について触れる必要はない。

【10】 刑法

次の3問から2問を選択し、解答しなさい。(選択した問題の番号を冒頭に明記し、解答用紙は1問につき1枚使用すること。)

問1 正当防衛における急迫性をどう認定すべきかについて、論じなさい。

問2 いわゆる中立的(ないし日常的)行為による幫助の意義について、論じなさい。

問3 保護責任者遺棄罪(刑法218条)における保護責任とは何かについて、論じなさい。

【11】 刑事訴訟法

次の4問から2問を選択し、解答しなさい。(選択した問題の番号を冒頭に明記し、解答用紙は1問につき1枚使用すること。)

問1 刑事訴訟における真実の発見ないし真相の解明と人権の保障との関係について、論じなさい。

問2 刑事訴訟における弁護人の役割について、論じなさい。

問3 誤判・えん罪を防止するための方策について、論じなさい。

問4 刑事裁判への一般市民の参加について、論じなさい。